

P コード MAJ-1002

【禁忌・禁止】

**使用方法

1. 本製品は強力な電磁波（マイクロ波治療器、短波治療器、MRI、無線機、携帯電話などの付近）を浴びる場所で使用しないこと。
[誤作動を招くおそれがある。]
2. 可燃性雰囲気中または酸素濃度の高いところや可燃性麻酔薬、亜酸化窒素（ N_2O ）を使用しているところ、あるいは体内にこれらのガスがあるときは本製品を使用しないこと。[火災や人体への傷害を起こすおそれがある。]

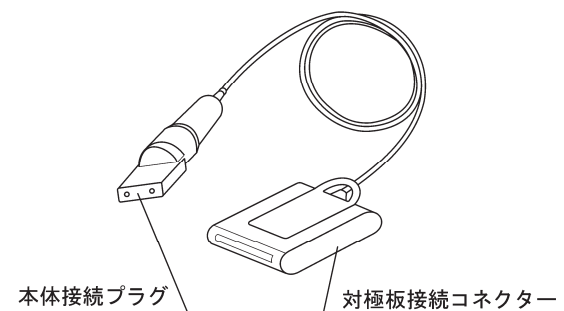
【形状・構造及び原理等】

**構造・構成ユニット

1. 構成

・ P コード MAJ-1002

2. 主要部分名称



3. 仕様

項目		仕様
大きさ	寸法	5050mm

作動・動作原理

本品の導電部を通じて、処置用対極板が回収した高周波電流を電気手術器に伝達する。

**【使用目的又は効果】

使用目的

本品は、当社指定の電気手術器と処置用対極板を接続し、高周波電流の帰路を確保することを目的とする。

**【使用方法等】

使用方法

1. 決められた方法で点検を行い、本品の外観に損傷がないことを確認する。
2. 電気手術器の電源スイッチが OFF になっていることを確認する。
3. 処置用対極板を患者に装着した後、対極板接続コネクタと処置用対極板を接続する。
4. 本体接続プラグを電気手術器に接続する。
5. 使用が終了したら、電気手術器の電源スイッチが OFF になっていることを確認したうえで、本品を処置用対極板と電気手術器から取りはずす。
6. 使用後、決められた方法で清掃を行う。

使用方法に関する詳細については、同時に使用する製品の『添付文書』および『取扱説明書』を参照すること。

使用方法等に関連する使用上の注意

1. 本製品を落としたり、強くぶつけたりすると故障するおそれがある。また、コードに無理な曲げ、引っ張り、ねじり、つぶしなどの力を加えないこと。コードが断線し、故障するおそれがある。
2. 本製品およびコード類（バイポーラ電極用のケーブル、アクティブコード、S コード）を電気手術器に接触させたり、ほかの医用機器（心電計、内視鏡画像ビデオカメラなど）のコードを束ねて使用しないこと。電気手術器から発生する高周波信号や、焼灼時の火花放電によるノイズを増強させ、本製品に出力停止などの誤作動を起こしたり、ほかの医用機器に悪影響を与えるおそれがある。
3. 本製品は水に浸したり、オートクレーブやガスによる滅菌をしないこと。本製品が故障するおそれがある。

【使用上の注意】

**重要な基本的注意

1. 使用中、出力に異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、電気手術器の電源スイッチを OFF にすること。出血や穿孔を起こしたり、患者がやけどしたりするおそれがある。
2. 本製品を使用する際は、下記の注意事項を厳守すること。守らないと、処置中に高周波出力がされず、処置具で組織が機械的に切断されて患者の出血や穿孔などを引き起こすおそれがある。
 - 本製品の対極板接続コネクタと処置用対極板は確実に接続すること。
 - 本製品の本体接続プラグと電気手術器は確実に接続すること。
3. 患者から処置用対極板をはがす際に、本製品を引っ張ってはがさないこと。患者の皮膚に傷害を与えるおそれがある。
4. 本製品およびコード類（バイポーラ電極用のケーブル、アクティブコード、S コード）は、以下の事項を厳守すること。
 - 接触すると患者がやけどするおそれがある。
 - 患者がベッドやほかの装置の金属部に接触しないようにすること。

**不具合

その他の不具合

故障、破損、誤作動、コードの断線

**有害事象

その他の有害事象

感電、穿孔、出血、感染、熱傷

同時に使用する製品の取扱説明書を必ずご参照ください。

****【保管方法及び有効期間等】**

保管方法

同時に使用する製品の『取扱説明書』の「手入れ」、「保管」を参照すること。

耐用期間

本製品は消耗品（修理不可能）である。

【保守・点検に係る事項】

****使用者による保守点検事項**

使用前に本添付文書や同時に使用する『取扱説明書』に従って点検すること。点検結果により必要であれば新品に交換すること。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先
TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

外国製造元：

エルベ社
ERBE Elektromedizin GmbH
国名：ドイツ

同時に使用する製品の取扱説明書を必ずご参照ください。